

第2回「国道1号草津川トンネル跡両側敷地活用懇話会」

ニュースレター

2013/12/25 発行：草津市

草津市では、国道1号草津川トンネル撤去に伴う草津川跡地の利活用と周辺道路の交通形態について話し合うことを目的に懇話会を開催しました。懇話会は、全3回の実施を予定しており、第2回が平成25年11月27日（水）に行われましたので、開催内容についてご紹介致します。

★懇話会の開催日程

	テーマ	内容
第1回 H25.10.21 14:00～	懇話会の目的と現地状況の確認、および今後の検討内容の方向性について	・事務局より、懇話会の目的、事業概要、今後のスケジュールについて説明し、景観・土地利用の方向性について意見交換 ・懇話会后、現地の状況を確認するため現場視察
第2回 H25.11.27 14:00～	国道1号草津川トンネル撤去後の敷地空間のあり方、および活用方法について	・土地利用における歩行者動線の課題や、敷地形状・導入機能について意見交換
第3回 H26.2.3 (予定)	国道1号草津川トンネル撤去後の敷地空間について（総括）	・景観・土地利用についての説明・総括 ・交通形態の変更、歩行者動線の考え方を説明 ・今後の事業の進め方について説明

※今回部分を太枠で囲っています

★第2回懇話会の内容紹介

第2回懇話会では、前懇話会の意見を踏まえて作成したスタディモデルを前に、土地利用における歩行者動線の課題や、敷地形状・導入機能について意見交換を行っていただきました。

～第2回懇話会プログラム～

* 開会

* 前懇話会のまとめ

* 模型を用いた説明

* 意見交換

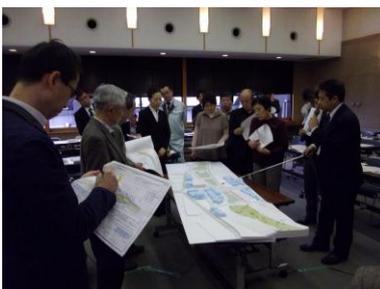
* 閉会



▲開会の挨拶



▲スタディモデル



▲模型を用いた説明



▲意見交換の様子

★主な意見の整理

■動線に関する意見

- ・ 交差点の形状については、国道の通行が優先される必要があることから、信号のある大路三丁目交差点を生かし、草津川跡地に新設する交差点は、中央分離帯を設けたT字交差にするという事務局提案で止むを得ないと思う。
- ・ 国道1号トンネルが撤去されることにより、両側敷地及び東海道を通る道が分断されてしまうため、連続性のある動線が必要だと思う。(歩道橋の設置)
- ・ 高齢者、障害を持った方のことを考慮して歩道橋一体型のエレベーターも必要ではないか。
- ・ バリアフリーを考慮した歩道整備が望ましいと思う。

■土地利用に関する意見

- ・ 活用空間においては、平地広場空間を階段状に設け、広場や駐車場として活用するという事務局提案が最良と思う。
- ・ 草津川跡地の利活用を考える上で「中心市街地」、「商店街の活性化」、「観光」との繋がりを視野に入れた展望を持つべきだと思う。
- ・ 臨機応変な土地利用を考えて、駐車場は少ない台数から始め、必要に応じて段階的に増やしていくべきだと思う。普段は公園として利用し、イベント開催時には臨時駐車場として使用するなど、色々な可能性を残しつつ検討することが必要だと思う。

【区間⑤について】

- ・ スペースが狭いため、駐車場の確保と店舗展開は規模が限定され難しいと思う。
- ・ 観光客を集める案も大事だが、まずは地元の人々が集まれる空間をつくって欲しい。

【区間⑥について】

- ・ 上流部は、今後、栗東市と共同し整備する箇所であり、整合性を図っていく必要があることから、現段階では具体的な利用計画は立てず、柔軟な利用を考えていくべきだと思う。
- ・ 草津川の歴史性を将来に伝えていくためにも、堤防はある程度残しつつ土地利用を考えていくべきだと思う。

★第3回懇話会開催について

テーマ：「国道1号草津川トンネル撤去後の敷地空間について」

内容：景観・土地利用についての説明・総括を行い、交通形態の変更、歩行者動線の考え方を説明した上で今後の事業の進め方について説明を行います。

日時：平成26年2月3日(月) 14:00～(13:30 受付)

